

六丁地域森林整備推進協定を締結

徳島森林管理署において、徳島県林業公社、徳島県農林水産部、那賀町、徳島水源林整備事務所、徳島森林管理署 5 者により、「六丁地域森林整備推進協定」の締結式が行われました。 【詳細 2 頁】



左側から、伊藤晴夫徳島県林業飛躍局長、宮城徹徳島県林業公社専務理事、坂口博文那賀町長、竹井正治徳島水源林整備事務所長、堀幸夫徳島森林管理署長

協定締結の様子



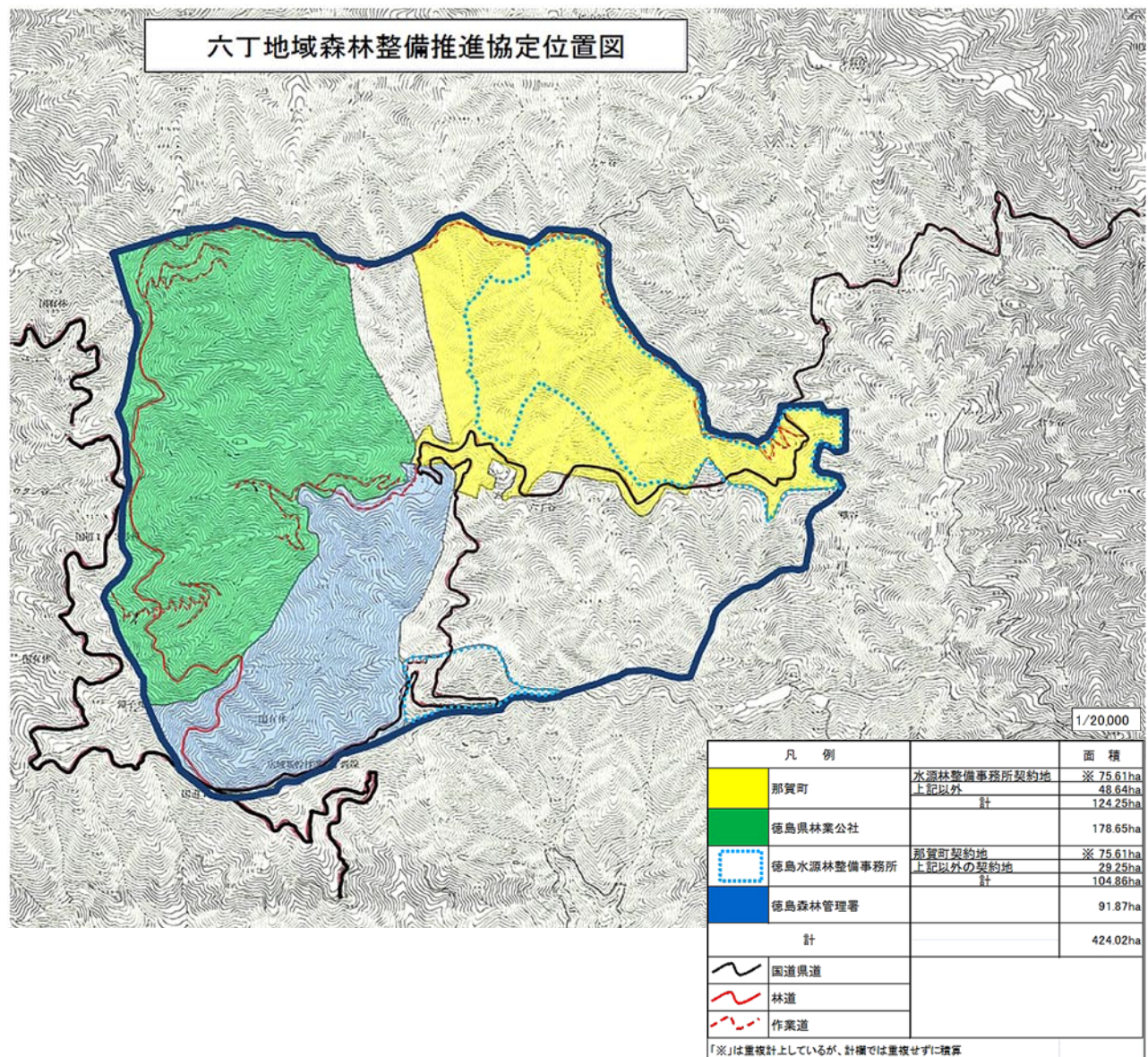
三月二七日、徳島森林管理署において、「六丁地域森林整備推進協定」の締結式が行われました。

この協定は、平成二〇年三月に徳島県林業公社、徳島県農林水産部との三者で



締結された「六丁地域森林整備の推進に関する協定」を拡充したものです。ここへ新たに那賀町、徳島水源林整備事務所が加わり、民有林と国有林の連携モデルとしてより広い団地での協定締結となりました。

これまでの協定では、国有林、民有林ともに、間伐作業、路網新設作業を中心に、森林整備を推進してきました。しかしながら、共同施業団地の隣接地には那賀町、徳島水源林整備事務所が所有・管理する森林が存在し、お互いが協定で結ばれれば、六丁地域全体の



森林整備・作業効率の一層の向上が見込まれることから、那賀町、徳島水源林整備事務所へ協定参加の声をかけを行い、この間、現地検討会や担当者会議を行ってきました。

現地検討会では、それぞれの林分・施業状況、既設路網等を調査し、関係者が連携することで効率的な施業が行えることが確認できました。那賀町は、二六年度に庁舎建替を予定しており、そのための皆伐を計画していましたが、近接地での土場確保に苦慮しているという状況でした。また、徳島水源林事務所では除伐、下刈作業を主体に事業を行っており、今後は間伐作業を進めていくとのことでした。それぞれが協定を結ぶことにより、お互い

の路網や土場等を相互利用することで施業の集約化やコスト低減が大いに期待されるということです。

締結式には、徳島県林業飛躍局長、那賀町長、徳島水源林整備事務所長、徳島県林業公社専務理事が出席し、署長挨拶の後、協定書を取り交わしました。出席者からは、那賀地区における今後の森林整備に対する期待の声が多く聞かれ、徳島県と林業公社が毎年、六丁地域で行っているイベントへの参加の呼びかけが行われるなど、盛り上がりを見せていました。徳島県では、五月に大型製材工場が稼働する予定であり、このようなタイミングで、県内の主要な林業関係者が協定を結び連携することへの期待も高まっています。今

後、人材育成等の場としての活用を含め、六丁地域から様々な取組みと情報の発

信を進めていきたいと考えています。



四月四日、高新文化ホールにおいて、「木で、未来をつくろう！ in 高知県」と

題し、木材利用ポイント事業や地域材利活用等を推進するためのシンポジウムが開催されました。



浅川局長基調講演

このシンポジウムは全都道府県で三月から五月にかけて開催されており、高知県では浅川局長が登壇し「国の木づかい施策等について」と題して、国・高知県の森林の状況や木づかいの取組等についての基調講演を行いました。

パネルディスカッションでは、「高知県における地

パネルディスカッション



域材利用・現状と未来」をテーマに浅川局長外四名が討論を行いました。

浅川局長は、木材自給率五〇%にするには、全国平均で木材生産量を二倍以上にしなければならぬと、現状では、伐採した木の半分くらいを山に放置しており、それを今後は、バイオマス発電等に使っていく取組を行う必要があるこ

と、また、木の良さを数字で表しPRすること、自分たちだけで考えるのではなく、森林・林業木材利用等

に全く関係ない人の意見で聞くのも新たな活路を見いだせるのではないか等の意見を述べられていました。



高知県香美市土佐山田町にある高知県森林技術センター情報交流館において、四月二〇日に「平成二六年度森林ボランティアリーダー養成講座」の開講式が開催されました。

今年実施される講座には、県内外から四〇名が参加しており、養成講座の開講にあたり、浅川局長より、国・高知県の森林の状況、子どもからみた木材の良さ、木材利用・バイオマス発電の事例、国民参加の森づくりのフィールド、森

この講座は「森づくりコース」「木工クラフトコース」「自然体験コース」の三コースがあり、平成二六年四月の開講式から平成二七年三月の開講式まで、各コース月一回の講座開催

林ボランティアの現状等、多岐の分野に渡る内容の特別講演が行なわれました。講演の最後には、浅川局長から『今後、皆さんが各地域で活躍されることで、「自然の大切さ」や「木を大切に使うこと」への理解が一層深まり、さらに、森の元気につながるので頑張つてほしい』と期待の込められたエールが送られました。



浅川局長の講演の様子



平成二五年度治山・林道工事コンクール受賞者の表彰式が三月一八日、当局大会議室で行われ次の方々が受賞されました。

(敬称略)

○四国森林管理局長表彰

【治山工事部門】

◆豚座建設(株)

代表取締役 佐田 憲昭

◆一若建設(株)

代表取締役 中畑 健右

◆(有) 上西組

代表取締役 上西 虎夫

◆(株) 山全

代表取締役 牛尾 正治

「現場代理人・主任(監理)技術者」

◆明治建設(有)

田島 知雄

◆高揚開発(有)

能戸 隆昌 岩本 武

〔監督職員〕

◆嶺北森林管理署

治山技術官 太田 勝稔

治山技術官 宮脇 健二

【林道工事部門】

◆渡川・松元経常建設共同

企業体

代表者 武内 昭代

◆湯浅建設(株) (二工事表彰)

代表取締役 湯浅 雅文

◆(株) 晃立

代表取締役 嶋崎 勝昭

◆沢良木建設(株)